

# あいなん掲示板

■あいなん小児医療を守る会から

## 今年度も守る会をよろしく願いします☆

1月から2月末まで、県立南宇和病院小児科と岡沢クリニクスに「ありがとうございますポスト」を設置させていただきました。皆様のご協力もあり、たくさんのおメッセージが寄せられました。ありがとうございます！

メッセージは大きな色画用紙に貼り付けて、それぞれの病院・先生に届けさせていただきました。慢性的な医師不足の中、毎日忙しく地域医療を担ってくださっている先生やスタッフの方々の気持ちが、少しでも楽になればいいと思います。「病院なんだから、診てもらって当たり前」、ではないんですね。感謝の気持ちを伝えることはもちろん、受診時間を守ること、正確に症状を伝えること、日頃の体調管理や病気の予防など、私たちが気を付けることはまだまだあります。

さて、新年度が始まりまし

た。守る会は3年目に突入しています。町内のイベント参加や研修会開催、そしてこのコラムを通して、少しは地域に根付いてきたかな、と思っています。小児・救急・地域の医療について、町民の皆様に関心を持っていただき、一緒に考えたり、取り組めたりできるよう、今年度も様々な企画を用意します。で、よろしく願いします☆



問合せ

あいなん小児医療を守る会

TEL 7312288

ainan.mamoru@gmail.com

お知らせ

独立行政法人国際協力機構から

## JICAボランティアを募集します

平成26年度JICA春ボランティアを次のとおり募集しています。あなたの技術・経験を活かし、発展途上で現地の人々と協働しながら国づくりに協力してみませんか。

**募集種類** ①青年海外協力隊、②シニア海外ボランティア

**対象** 日本国籍を持つ方で平成26年5月12日現在、①満20歳～満39歳、②満40歳～満69歳

**応募締切** 5月12日(月)

**応募方法** 所定の応募書類(健康診断書を含む)を郵送してください。

※「体験談&説明会」を4月13日(日)、松山市男女共同参画推進センターで開催します。関心のある方は、ぜひご参加ください。

問合せ JICA四国 TEL 087-821-8824

お知らせ

松山地方裁判所から

## 無料法律相談所を開設します

秘密は堅く守られますので、お気軽にご相談ください。

**日時** 5月7日(水) 10時～15時

※受付時間 9時～14時30分

**場所** 松山地方裁判所宇和島支部

**参加方法** 当日、直接開場にお越しください。

先着順に受け付けます。

**相談内容** 金銭関係、不動産関係、家庭関係の悩み事など

**相談者** 愛媛弁護士会所属の弁護士

**相談時間** 30分以内

問合せ 松山地方裁判所宇和島支部 TEL 0895-22-1133

お知らせ

愛媛県視聴覚福祉センターから

## 手話通訳者及び要約筆記者養成研修を 開催します

愛媛県では、聴覚障害者のコミュニケーションを支援する手話通訳者及び要約筆記者の養成研修を開催します。関心のある方は、お気軽にご参加ください。なお、定員に限りがありますので、希望される方はお早めにお申し込みください。

### 【手話通訳者】

研修日程 5月～12月の間、毎月1回程度(土曜日)

会場 今治市内及び西予市内の2か所

【要約筆記者】(手書きコース、パソコンコース)

研修日程 5月～平成27年2月の間、

毎月1回～5回(土、日曜日)

会場 西条市内

※いずれの研修も、受講受付は4月25日(金)までです。申込方法、受講対象等、詳しくはお問い合わせください。

申込み・問合せ

愛媛県視聴覚福祉センター

TEL 089-923-9093

お知らせ

愛媛労働局から

## 労働基準監督官の採用試験を実施します

第一次試験日 6月8日(日)

第一次試験地 松山市ほか全国15都市

※受験の応募はインターネット(<http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.htm>)での申込みのみで、締切りは4月14日(月)

【受信有効】です。

受験資格、試験区分等、詳しくはお問い合わせください。

問合せ

愛媛労働局総務課 人事係 TEL 089-935-5200

## — あいなん音故地新 — ~決心。~

— 昨年の12月に、ある方のお宅で演奏させていただいた。音楽好きなご主人のためにと奥様からの依頼。会場となるリビングには家族、親戚、ご近所さん15人ほどが集まった。その和やかな空気の中でギタリストと二人、ゆっくりゆっくりとリクエスト曲やオリジナル曲を演奏。知っている曲が始まると大きな声で一緒に歌うご主人。歌が終わるとその歌にまつわる思い出話をきかせてくれた。50年前の話を、目を細めて昨日のここのように。とても元気だった。楽しそうに笑ってた。ご主人の余命はわずかで、この頃には体調に波がありベットの上での生活。朝に目を覚ますのを確認するような日々だったと聞いたのは歌い終わった後。演奏してた2時間ずっと車椅子に座って笑って話して歌えるなんて思ってもなかった、と。



この日がご主人にとって最後の歌になった。奥様がご主人のために、あたしの歌を選んでくれたことを幸せに思う。あの日、玄関で“ありがとう”って強く抱きしめてくれたことを忘れない。あのときあたしを選んで良かったと、これからはずっと思ってもらえるようなそんな歌を歌い続けていこうと心に決めた。  
(テノヒラkiku)